

3 説明会で皆様から寄せられたご質問やご意見

説明会に参加された方から寄せられたご質問やご意見の一部と、それに対する回答をまとめました。(この他にいただいたご質問等は土木事務所ホームページに掲載する予定です。)

- Q1** 30年に1度の大雨でも大丈夫な河川計画とした理由を教えてください。
- A1** 県管理河川を改修する場合、逢初川のような比較的流域の小さい河川は30年に1度降る雨を安全に流す規模の改修計画としております。河川改修を行い治水上の安全を確保していきたいと考えております。
- Q2** 逢初川と市道を広げるとは思いますが、どのくらい広げるのでしょうか？
- A2** 逢初川の開水路（上が開いている川）区間は幅約3.4mとする予定です。【県】市道は川の両側に必要と考えていますが、道路の幅（幅員）は車が安全に通行できるように今後検討していきます。【市】
- Q3** 逢初川中流部の改良復旧区間の計画はいつ頃までに決まるのでしょうか？
- A3** これから行う調査や設計の進捗状況にもよりますが、年度内には計画を決めていきたいと考えています。

4 逢初川復旧事業の今後のスケジュール

今後のスケジュールは、下の表のとおりです。なお、境界立会等の状況等によっては、変更となる場合もあります。

	令和3年度 4月	令和4年度 3月 4月	令和5年度 3月 4月 8月~	令和6年度 3月 以降
復興まちづくり (事業主体：熱海市)	計画策定			
河川に関する御説明	10/9 12/7~地権者さま個別訪問	12/22、1/12・13工事説明会		
現地測量・設計 (詳細は3をご覧ください)	←→			
用地境界立会 <small>令和4年2月上旬開始予定。 関係者には別途ご案内します。</small>	←→			
用地調査・補償額の算定	←→			
補償にかかる協議 契約締結	←→			
仮設工事用道路 仮設排水路工事	←→			
河川復旧工事	上流部、下流部 原形復旧区間	中流部改良復旧区間及び下流部屈曲改良区間		

5 もっと詳しく知りたいときは・・・

逢初川の復旧に関するご意見、ご質問は、以下のお問合せ先までお気軽にお問合せください。なお、その他の詳しい資料は、熱海土木事務所ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

<お問合せ先>
静岡県熱海土木事務所企画検査課・工事課
〒413-0016 熱海市水口町13番15号
TEL 0557-82-9171・9181
FAX 0557-82-9110



公式HP



ツイッター

逢初川だより

第3号

～静岡県は、一日も早い復旧、復興を目指し、全力で逢初川の工事等を進めます～

静岡県熱海土木事務所 広報誌

逢初川（上流部・下流部）の災害復旧工事に関するお知らせ

今回の土石流災害によりお亡くなりになりました方々の御冥福を心よりお祈りするとともに、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。

今なお1名の行方不明者の方の捜索が行われている最中であり、大変心苦しい気持ちでございますが、熱海土木事務所では、被災した地区の治水上の安全を確保するため、逢初川の復旧に取り組んでおります。

この取組のひとつとして、逢初川の上流部と下流部において、被災した護岸を復旧する工事を計画しています。工事の内容を地域の皆様にご説明させていただくため、伊豆山浜及び岸谷の町内の皆様を対象に説明会を開催しました。

この度、ご出席できなかった方や仲道町内会の皆様に、説明会の概要をお知らせするチラシを作成しましたので、ご覧いただければ幸いです。

1 説明会の概要

	伊豆山浜町内会	岸谷町内会
(1)開催日時	令和3年12月22日（水） 19時～20時頃	(町内にお住まいの方) 令和4年1月12日（水）19時～19時45分頃 (避難されている方) 令和4年1月13日（木）19時～20時10分頃
(2)開催場所	浜会館（伊豆山579-37）	岸谷会館（伊豆山339-1）
(3)参加人数	13人	59人（2日間の合計）
(4)主な説明内容	逢初川の上流部及び下流部における、被災した護岸を元に戻す（原形復旧）工事の内容及びスケジュールについて	

(参考) 仲道町内会の皆様には、別途回覧板により工事概要をご案内しました（令和3年12月）。

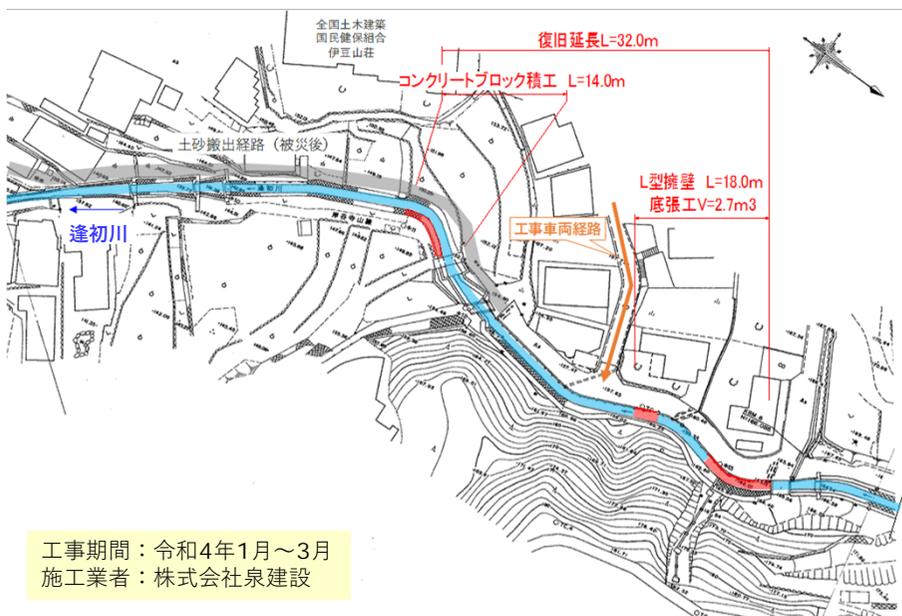


出典：国土地理院地図

2 災害復旧工事の概要

表紙の図中の **1** **2** の部分を拡大すると、下の図のようになります。なお、**3** の部分の進捗状況は以下のとおりです。（ここに示した内容は、今後、関係者との協議などにより、変更となる場合があります。）

1 上流部 市道伊豆山神社線より約120m上流



コンクリートブロック積の被災状況（被災直後） 復旧する箇所（コンクリートブロック積）

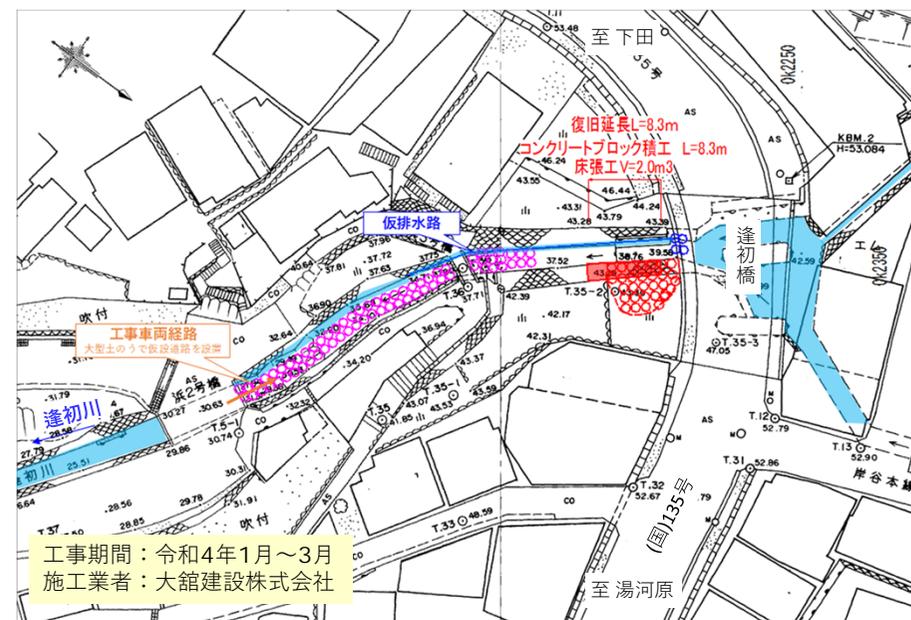


L型擁壁の被災状況

復旧する箇所（L型擁壁）



2 下流部 (国)135号逢初橋の下流直近



コンクリートブロック積の状況（被災直後）

被災箇所を大型土のうで応急的に復旧した状況



3 中流部の改良復旧区間及び下流部の屈曲改良区間

現在、測量・調査や測量や設計などの作業（下表）を行っています。今後、土地を所有されている方には境界立会にご協力をお願いします。境界立会の実施については別途、ご案内いたします。

作業項目	作業内容	作業期間
現地測量	現在の地形を測量します	令和3年10月～令和3年12月
用地測量	土地の調査や土地の面積を測量します	令和3年10月～令和4年3月
地質調査	地質構成や地盤を調査します	令和3年12月～令和4年2月
河川設計	復旧方法の検討や設計をします	令和3年12月～令和4年3月